

目次

第1章／策定の目的及び位置付け

策定の目的	04
位置付け	04
計画期間	05

第2章／水道水源林の概要

2-1 多摩川上流域の現況	08
2-2 森林の多面的機能	12
2-3 水道水源林の成り立ち	16
2-4 水道水源林の現状	18
人工林の管理	
天然林の管理	
2-5 課題と今後の方向性	20
第11次水道水源林管理計画の実績	
第12次水道水源林管理計画における取組の方向性	

第3章／管理の基本的な考え方

3-1 基本方針	26
3-2 森づくりの考え方	28
人工林	
天然林	
3-3 事業体系	36

コラム

水源かん養機能の見える化	14
J-クレジットの創出	32
クマの生態と生息環境	57
ナラ枯れへの対応	59
生物多様性保全に向けた取組	75
シカ柵による多様な植生の回復	85
みんなでつくる水源の森プロジェクト	90

第4章／森づくりの取組

4-1 森林保全事業	
取組1-1 人工林の健全な育成	45
取組1-2 天然林の適正な管理	48
取組1-3 購入した森林の再生	50
取組1-4 獣害・病虫害対策	52
取組1-5 山林火災への備え	60
4-2 治山事業	
取組2-1 予防治山	66
取組2-2 復旧治山	68
4-3 基盤整備事業	
取組3-1 林道	72
取組3-2 単軌道	73
取組3-3 管理用歩道	74
4-4 新技術の活用	
取組4-1 通信基盤の強化・活用	80
取組4-2 新たな調査手法の確立	82
取組4-3 継続した調査研究	84
4-5 計画事業量	87

資料編

1 水道水源林の沿革	92
2 水道水源林管理(経営)計画の変遷	93
3 人工林・天然林の現況	94
4 保育の標準	99
5 水道水源林に係る各種規制	100
6 山林火災対策の現況	102
7 森林管理基盤の現況	103